

太陽熱

太陽熱利用機器の利用実態調査をご提案します！

<再生可能エネルギー導入機運の高まり>

- ・家庭エネルギー消費量の約50%が給湯・暖房の低温熱需要
- ・太陽熱利用機器は熱変換効率が40~60%と高い（ソーラーパネルの変換効率：15~20%）
- ・太陽熱利用機器の設置の現状や将来の普及に向けての課題などの情報収集が不足

当社は現状の太陽熱利用機器（自然循環型・強制循環型）の設置状況の把握や、各機器の利用の実態を明らかにすることが可能です。

太陽熱利用機器判読調査

航空写真を活用して太陽熱利用機器の設置箇所を把握

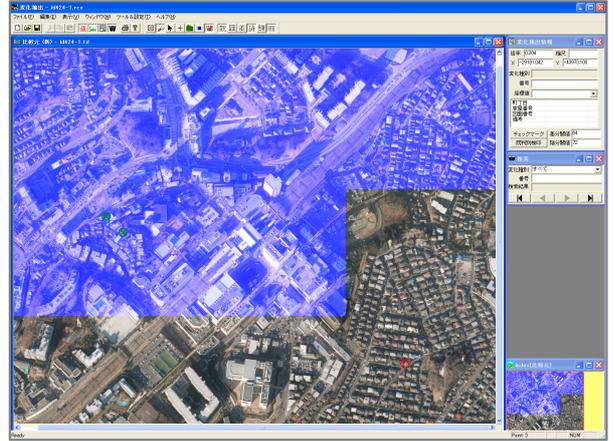
市内全域の航空写真を判読することで、太陽熱利用機器の設置箇所を抽出します。また、航空写真に既存の行政界データ等を重ねることで、抽出した設置箇所を地区別や町目別に整理し、市内全域の分布状況を把握します。

航空写真の判読は、当社の特許技術（特許番号：第2811055号）である「判読名人」（航空写真判読ソフト）を活用して、効率的に精度の高い抽出作業を行うことが可能です。

【必要データ】

- ・航空写真オルソ画像（市内全域）
- ・都市計画データ等

判読事例（左）と判読名人表示例（右）

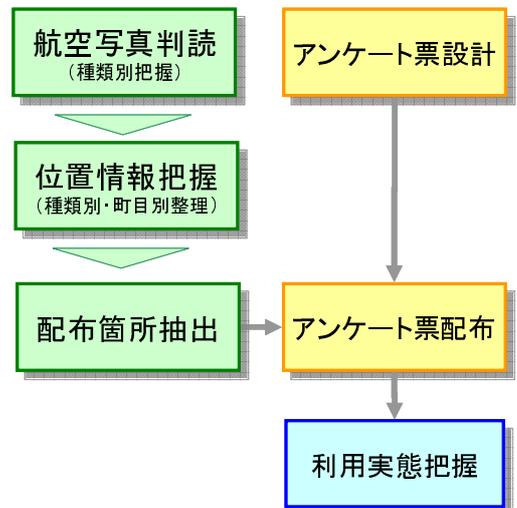


利用状況実態調査

効率的なアンケート調査による利用実態の把握

住宅に設置されている太陽熱利用機器は設置年が古いため、故障等の理由により現状では利用されていない機器もみられますが、その実態については情報が十分ではありません。

そこで、当社では写真判読調査結果をもとに太陽熱利用機器の位置情報を把握し、設置家屋に対してアンケート票を配布すること等により効率的に利用の実態をヒアリングすることをご提案します。アンケート調査等を通じて、太陽熱利用機器の利用の実態を明らかにできるとともに、太陽熱利用機器利用者の機器に対する要望やニーズ、今後の普及に向けての課題等について分析を行うことが可能です。



お問い合わせ先